

代々木図書館新聞

よぎとしゃんぶん

渋谷区立代々木図書館 03-3370-7566

〒151-0053 渋谷区代々木 3-51-8 代々木区民施設 4F

Vol. **26**
2014年1月15日

代々木図書館 2014年1・2・3月の予定

1月

- 1月16日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 1月18日(土) 15時～15時30分
こどもカルタ会
- 1月23日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 1月25日(土) 9時～
雑誌リサイクル
- 1月30日(木) 15時～15時30分
おはなし会

2月

- 2月6日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 2月15日(土) 15時～15時30分
おはなしとこうさく会
- 2月20日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 2月22日(土) 9時～
雑誌リサイクル
- 2月27日(木) 15時～15時30分
おはなし会

3月

- 3月6日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 3月20日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 3月22日(土) 9時～
雑誌リサイクル
体験! 1日図書館員
- 3月27日(木) 15時～15時30分
おはなし会

左から:『身近な野鳥観察ガイド』
戸塚学・箕輪義隆著 文一総合出版
『散歩で楽しむ野鳥の本』街
中篇』大橋弘一著 山と溪谷社
『東京近郊野鳥撮影地ガイド』永
井真人著 山と溪谷社



代々木公園バードウォッチングⅢ 冬を過ごす鳥たち



上: ヤマガラ 下: ヒガラ



メジロ

●山から来る鳥

冬になると、公園で見られる鳥の種類も数も多くなります。ツグミのように他国から飛来する冬鳥や、国内の寒いところから移ってくる鳥がいるからです。

ヒガラは高い山から降りてくる鳥。スズメより少し小さく、チーチーと細い声で鳴きます。ヒヨドリも北部からくるのでいつもより多くなります。頬が赤く、尾の先はハートの形。ピーヨピーヨと鳴く声が大いので見つけやすい鳥です。

●実を貯えるヤマガラ

公園のバードサンクチュアリには鳥の好む実のなる木が多く植えられています。

えこの木の実が好きなのはヤマガラ。秋には足指で押さえながら嘴で割って食べている姿が見られました。樹皮の隙間に実を貯食し

●目白押し

ておく習性があります。昆虫や、木になっている実が少ない今ごろは、貯えたものも食べていることでしょう。

メジロは文字通り目の周りが白い鳥。甘いものが好きなので山茶花や椿の花にやってきます。幼鳥が枝に並んで押し合うようにとまるところから、目白押しという言葉が生まれたのだそうです。葉が落ちて見やすく、鳥の多くなる冬は、バードウォッチングに最適な季節。散歩の折に足を伸ばしてみたいかがでしょうか。

2014年1月・2月・3月の休館日

1月 19(日)・21(火)・28(火) **2月** 4(火)・11(火)・13(木)・16(日)・18(火)・25(火)

3月 4(火)・11(火)・13(木)・16(日)・18(火)・25(火)

この新聞は代々木図書館で働いているスタッフが作っています。

楽しみはバードウォッチングだけではありません。代々木公園では、こんなものが見られますよ。雪吊り(奥)とわらぼっち(手前)。いずれも、雪から植物を守る工夫なのだそうです。わらぼっちは、姿も名前も愛らしいですね。

そして、こんな絵本を一緒に読むと、子どもと公園に行くのがもっと楽しくなりますよ。

冬の公園を楽しむ

『かぜフーホッポ』三宮麻由子ぶん
齊藤俊行 福音館書店



上:『おちばがおどる』いとうひろし作
ポプラ社 左:『しもばしら』野坂勇作
さく 福音館書店



図書館にサンタさんがやってきました!



リース、素敵でしょ

クリスマス会に
来られなかった
おともだちにもおみやげ

12月21日(土)、「おはなしとくさく会」を兼ねたクリスマス会を行いました。

おりがみで作ったクリスマスリースを完成させた後は、絵本の読み聞かせです。作者のやなせたかしさんを悼み『アンパンマンのサンタクロース』を読みました。アンパンマンはサンタクロースと同じく、本当は多くの子どもたちに愛されています。最後はサンタさんがプレゼントを持って登場です。子どもたちは、ひとしきりサンタさんとの会話を楽しみました。

クリスマス会を行いました



『虹の天象儀』瀬名秀明著 祥伝社

多くの天文ファンに愛され、44年間の使命を終えた五島プラネタリウムの投影機はカール・ツァイスIV型。この宇宙船のようにも見える不思議な形の投影機は、現在、これもれび大和田図書館が入る「渋谷区文化総合センター大和田」で見ることが出来ます。

その翌日、不思議な少年が現れ、主人公は過去にタイムスリップしてしまします。生前の織田作之助(小説『夫婦善哉』の作者)に会うためにはたして、織田作之助がもう一度見たいのはどんな夜空か。最後、満天の星空が広がり、道行く人すべてが足を止めて渋谷の空を見上げる場面は感動的です。

物語は、かつて渋谷駅前にあった五島プラネタリウム最後の日から始まりです。主人公は投影機を操作する技術者で、解説も行っていました。(五島プラネタリウムでは録音されたものではなく、毎回人が機械を動かしながら解説をしていたのです。)

渋谷の文字④ 瀬名秀明

—五島プラネタリウム—

最近これ読みました⑥

『ふたつの月の物語』

富安陽子著 講談社

14年前の4月に生まれた、月と関係のある子ども。それが、養子候補となる条件。探し出された美月(みづき)と月明(あかり)の二人は、老富豪の家に迎え入れられます。ダムに沈んだ村、3年前に起こった事件、そして、二人を迎え入れた老婦人の望みとは。

ママがキツネの「シノダ!」シリーズから印象をがらりと変えて、大口真神というオオカミ信仰にからめた物語。



「カルタ」で遊ぼう♪

1月18日(土)午後3時から、お正月の風物詩「こどもカルタ会」を開催します。

『アンパンマン』や『はらぺこあおむし』など、みんなにお馴染みの絵札を使い、お題目を読み上げたり坊主めくりをしたり。毎年楽しく熱い、ドキドキの遊びが繰り広げられています。赤ちゃんや小さいお子さんも、お父さんお母さんと一緒にぜひ参加して下さいね。

申し込み不要。当日直接ご来館ください。



昨年ようす。「取ったーっ!!」

編集後記

自宅(川崎市)近くの無人野菜直売所に、お札が貼ってあります。泥棒除けでしょうか。オオカミの絵と「大口真神」、更に「武蔵国御嶽山」の文字。オオカミ信仰は山岳信仰とも結びついていたのでした。知りたくなったら『オオカミの護符』(小倉美恵子著 新潮社)がおすすめです。

ご紹介した本は、すべて渋谷区立図書館で借りられます。

